

ロータリー財団委員会

委員長 中野 均

活動方針

ロータリー財団は、ロータリアンである私たちの寄付金で運営されています。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

この使命を達成できるように各クラブロータリー財団委員長様のお手伝いができるよう取り組みます。

地区目標

- ポリオ撲滅
- 寄付ゼロクラブの解消
- ロータリーカードの普及、推進
- 恒久基金/大口寄付の増進

ロータリー財団の寄付目標

- 年次寄付 1人200ドル以上
- ポリオ寄付 1人10ドル以上

活動計画

1 補助金小委員会

ロータリー財団補助金の実施と、ロータリー平和センターフェロープログラムへの参加の管理と推進を担当します。

クラブが補助金を利用して教育的、職業的、人道的活動を実施できるよう支援します。

活動計画

2 財団資金管理小委員会

補助金の管理を徹底させ、適切な補助金管理についてロータリアンに情報や研修を提供します。地区が補助金を監督するにあたり、この小委員会が重要な役割を担います（特に補助金の金額が大きい場合には、所期の目的に沿って資金が使用されるよう監督することが重要となります）。

活動計画

3 ポリオ・プラス小委員会

ポリオ撲滅活動の情報をロータリアンや地域社会の人びとに伝え、募金活動を企画します。

4 資金推進小委員会

地区における財団への寄付の推進と、寄付者の表彰・認証を管理します。

ポリオの現状

1981年 日本において撲滅

2015年 パキスタン 54例

アフガニスタン 20例

2016年3月30日現在

パキスタン 7例

アフガニスタン 2例

最大の課題として、寄付金増額のお願い。

寄付金ゼロクラブの現状

2015－16年度(2016.3.22現在)

寄付金ゼロクラブ 当地区 22クラブ

2017年 ロータリー財団100周年を迎える。

年次寄付「0」クラブがなくなるよう取り組む。

該当クラブがあれば、資金推進小委員会から寄付のお願いをさせていただきます。

ロータリーカードについて

今までは、個人の会員様に対し、普及、推進を図ってきました。

この度、地区名、クラブ名のカードが作れるようになりました。

例えば、会場費、物品購入等送金手数料不要で支払いができる。また、金額の0.3%がポリオ寄付に回る。

但し、ガバナー、会長の任期が1年のため、毎年カードの発行換が必要。

ロータリー財団100年

1917年6月18日アトランタで開催された第8回ロータリー年次大会にて、当時会長のアーチ・クランフが「世界でよいことをするための基金を作るのが、極めて適切だと思われる」と演説。

その1ヶ月以内に、この基金に初の寄付26ドル50セントが寄せられた。

ロータリー財団100年

アーチ・クランプの演説と寄付で始まった財団は、世界各地の貧困緩和、保健改善、教育機会の拡大、平和の推進を支える数億ドル規模の財団に成長するまで、長い道のりをたどることになった。

その間、数々の困難にも負けず夢を貫き通した人である。

ロータリー財団100年

1947年、ポールハリスが亡くなり1ヶ月後、クランプは、財団への情熱と、36年来の親友であったハリスへの親愛を込めた演説、財団を通じてより平和な世界の実現を目指すようロータリアンを鼓舞した。

創始者の目標である「世界でよいこと」をするため、少しでも多く寄付して下さいますよう各会員様にお問い合わせいただきたたく存じます。

財団補助金について 財団はむずかしいのか

制度が変わってから「財団は難しく、聞いてもさっぱりわからない」という声が非常に多く聞かれます。

財団のプログラムは多岐にわたり、カタカナ用語や略字が多いのもその一因であると思います。

わかりやすく、身近なものとして理解してもらうために取り組んで参ります。

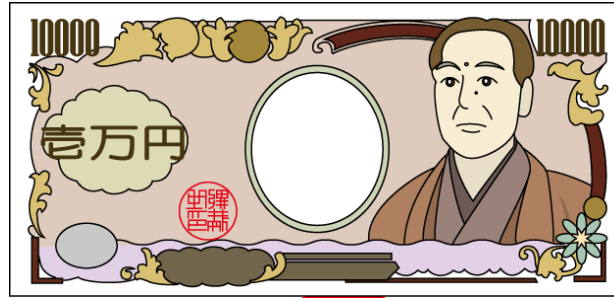
財団はむずかしいのか

2013年から新しい補助金制度で地区補助金がDDF(地区財団活動資金)の50%まで使用可能になりました。

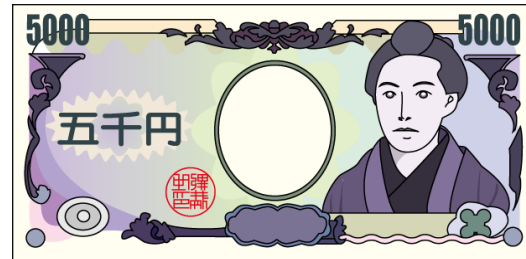
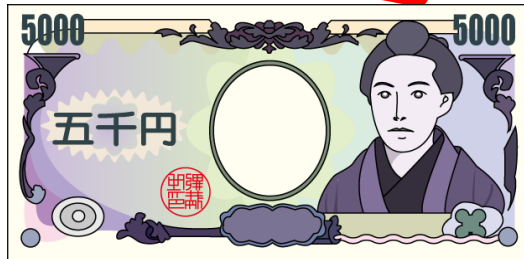
財団を身近なものとして理解していただき「財団は我々のもの」と意識してもらう一番の近道は、クラブが「地区補助金」を有効活用し、国内・国外で奉仕活動を行うことです。

1万円寄付

3年間投資



DDF
50%



W F
50%

DDF

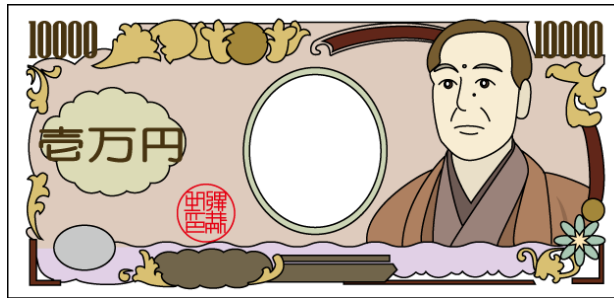
地区財団活動資金
我々のクラブや地区
で使えます

W F

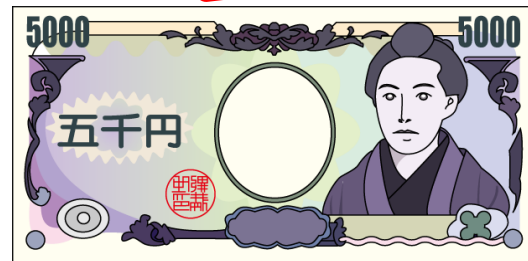
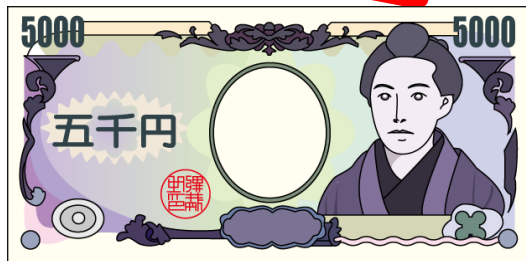
国際財団活動資金
グローバル補助金
の上乗せに使います

分け合いますのでこれを
「**シェアシステム**」と呼びます。

1万円寄付 3年間投資

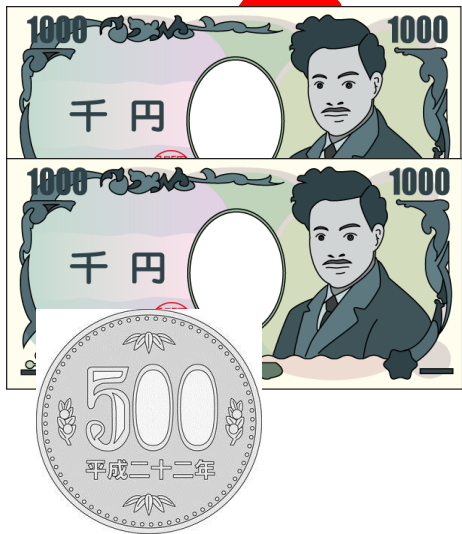


DDF
50%



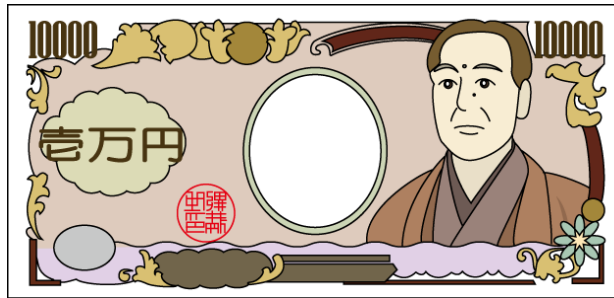
WF
50%

地区補助金

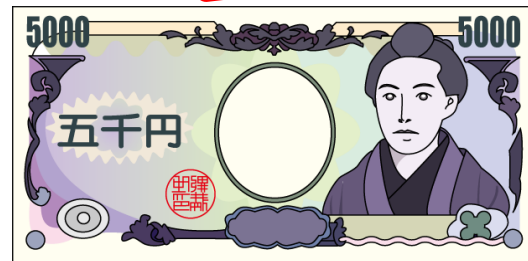
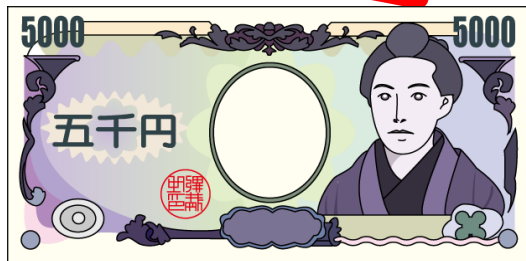


- ①地区補助金は皆様のクラブや我々の地区で使用できる補助金です。
- ②比較的小規模な事業に使用します。
- ③地域においても海外においても使用できます。
- ④VTT(職業研修チーム)、奨学金にも使用できます。
- ⑤6つの重点分野に拘束されることなく、奉仕プロジェクトに使用できます。
(植栽、看板、ベンチ、スポーツ大会、音楽会開催、里山整備、スピーチコンテスト等)

1万円寄付 3年間投資

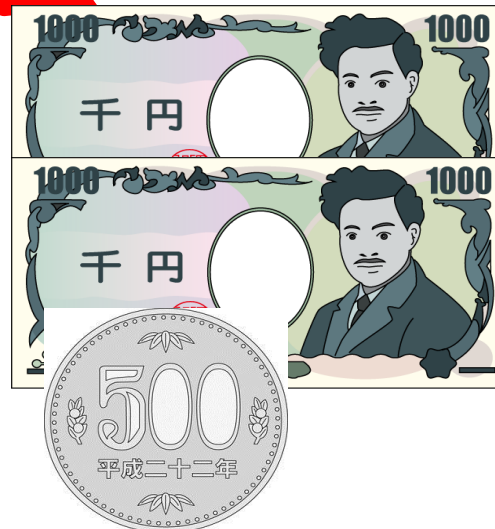


DDF
50%



WF
50%

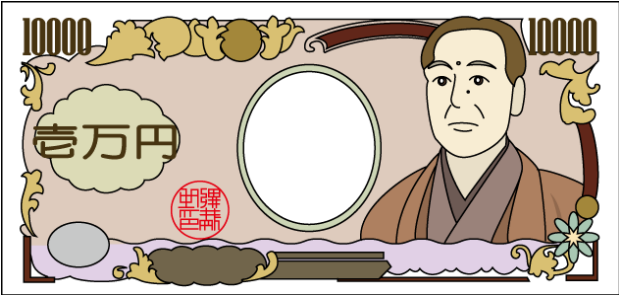
- ①海外の地区やクラブと共同で行う事業に使用できます。
- ②6つの重点分野に関する事業に使用します。
- ③事業規模は大きく3万ドル以上、持続性が要求されます。
- ④人道的、VTT(職業研修チーム)、奨学金に使います。



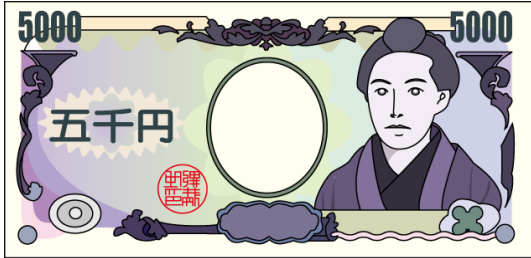
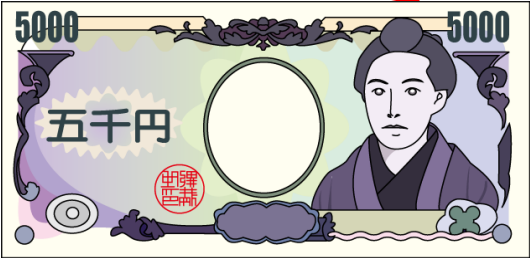
グローバル
補助金

1万円寄付

3年間投資



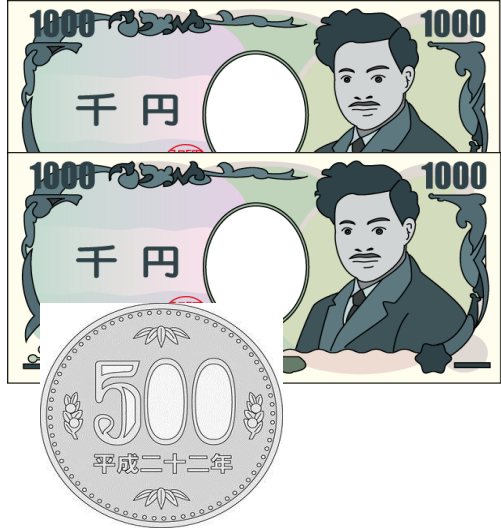
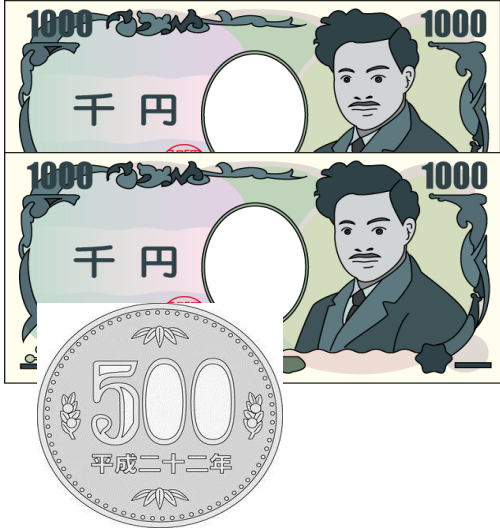
DDF
50%



WF
50%



地区補助金



グローバル補助金

地区補助金小委員会の役割

- 各クラブから提出された申請書を精査。
- 申請金額は、3年前のクラブ寄付金額を基本に検討する。
- 申請内容に応じて、ロータリーの交換活動・地域社会の発展・教育・食糧・保健・水と活動の種類に分けます。
- 補助金小委員会は、あくまでTRF(ロータリー財団)の申請窓口としての役目を行っています。